

平成26年度

# 奈良市の わかりやすい 予算書

奈良市の  
わかりやすい予算書

市民のみなさんから  
お預かりしている  
お金の使い道などを  
わかりやすくご説明します。



リニア招き鹿：りにまね

■お問合せ先

奈良市 財務部 財政課  
〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号  
電話 0742-34-4720 FAX 0742-34-4755

写真提供：(p5, p12, p13下写真)奈良市観光協会



平成26年度

## 奈良市のわかりやすい予算書

市民のみなさんには、日ごろから奈良市のまちづくりに対して深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

「奈良市のわかりやすい予算書」の作成も3回目となります。今回も市民のみなさんに市予算の仕組みを理解していただけるようにと、なるべく身近な表現を心がけて作成しました。

依然として厳しい財政状況ではありますが、限られた予算の中で最大限の効果が生み出せるようにと編成した予算について、少しでも多くの方に理解していただけたらと考えています。

奈良市長

### 目次

#### 今年の主な仕事は？

世界から尊敬される  
国際観光経済都市NARA

若者たちが帰ってきたくなる街

いつまでも住み続けたい安寧の地

オープンでコンパクトな自治体へ

予算ってどんなもの？

支出を見てみよう

収入を見てみよう

改善策を考えよう

## NARA NEXT4 ～未来への約束～

### 奈良市が目指すまちづくり4つのビジョン

#### 世界から尊敬される 国際観光経済都市NARA

- 奈良町を核とした観光振興
- 猿沢池周辺活性化
- 奈良の食ブランド化戦略
- 東部地域振興

#### 若者たちが 帰ってきたくなる街

- 質の高い公教育
- 学校給食
- 子育て支援
- 豊かな自然環境の保全

#### いつまでも 住み続けたい安寧の地

- 防災行政
- 安心安全のまちづくり
- 個別重点項目

#### オープンでコンパクトな 自治体へ

- 民間委託
- 個別重点項目

# 今年の主な仕事は？



## 世界から尊敬される国際観光経済都市NARA

### 奈良町を核とした観光振興

#### 目的

奈良町を古い町並みや昔からの生活文化を伝える観光の拠点として運営・整備することで、市民や観光客に奈良の魅力をより深く感じていただくための上質で文化的な時間を過ごせる空間を提供し、奈良町への誘客を促進します。

### 奈良町にぎわい構想

担当 奈良町にぎわい課

平成26年度予算額 7,380万円

- 新「奈良町にぎわい構想」の策定 70万円

「ならまち賑わい構想」を評価・検証するとともに、奈良町の一体的な観光振興と地域の活性化を図るため、有識者による検討を経て、新たな「奈良町にぎわい構想」を策定します。
- 都市景観形成地区建造物保存整備費補助金 2,000万円
- ならまち町家建物内部改修モデル事業費補助金 5,010万円

景観保存（外観）に加えて、奈良町の伝統的な町並みを保存し、町家の保全活用を促進するための補助を行います。
- ならまち町家バンク 300万円

「奈良町」に残る昭和20年頃までに建てられた「町家」について、その歴史ある面影と町並みを保存するために、物件の活用機会を所有者及び活用希望者に提供し、町家の活用促進を図ります。

### ならまちナイトカルチャー・出前カルチャー

担当 奈良町にぎわい課

平成26年度予算額 700万円

奈良町で、夜のひとときを楽しんでいただくためのイベント「ならまちナイトカルチャー」の拡大と、修学旅行のための「出前カルチャー」を実施することで観光客・修学旅行の誘致促進を図ります。

### 奈良町区域内施設改修

担当 奈良町にぎわい課 文化振興課

平成26年度予算額 1億4,300万円

- ならまち振興館活用事業 6,800万円

南の玄関口にある「ならまち振興館」を、歴史や生活文化を体感できる魅力的な施設として整備します。
- ならまちセンター改修事業 7,500万円

ならまち散策の出発点であるならまちセンターの改修整備を行い、新たな奈良の魅力創造の場として、市民及び観光客の利用促進を図ります。

### 猿沢池周辺活性化

#### 目的

JR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良公園をはじめとした観光施設へつながる玄関道として猿沢池周辺の活性化を図り、国際観光経済都市としてふさわしい観光整備を行います。

### 「元林院」の復興（懇話会・イベント）

担当 奈良町にぎわい課

平成26年度予算額 206万円

元林院を中心とした猿沢池周辺地区における夜の観光の魅力を創出するための検討を行い、なら国際映画祭の時期に合わせて元林院の伝統芸能の体験・鑑賞イベントなどを開催することにより奈良町の振興を図ります。

## 春日大社第60次式年造替事業の告知・誘客

担当 観光振興課

平成26年度予算額

250万円

式年造替をきっかけとした誘客のために、マスコミ・旅行会社・全国の神社関係者などを対象とした、研修旅行の企画およびその実施に取り組みます。

今後の方針（3年計画）

平成26年度 情報発信チャンネルの拡大（見学、説明会等）

平成27年度 情報発信、団体営業支援、着型の見学会等

平成28年度 旅行商品化、プロモーション活動

## 電線類美化事業（三条通）

担当 道路建設課

平成26年度予算額

1,000万円

奈良市内における電線類地中化事業を推進する地区として定めたひとつである「興福寺・春日大社」地区において、先に完了している興福寺から鶴福院町方面に引き続き、興福寺から奈良駅方面へと続く三条線での事業を行うことで興福寺を起点とした世界遺産にふさわしい景観の形成を図ります。

## 猿沢線街路整備事業

担当 街路課

平成26年度予算額

400万円

本路線は、世界遺産群である興福寺から元興寺・奈良町を結ぶ道路であり、都市計画道路三条線・杉ヶ町高畑線に結節し生活・観光の環境を整備します。



## 奈良の食ブランド化戦略

目的

奈良市の食と魅力を国内外にPRします。奈良市には、高品質な農産物や加工品などがあるものの、消費者にしっかりと伝わっていません。そこで、奈良の食の歴史・文化とともに、それらの食材を見せる・味わう仕掛けを工夫しながら積極的に発信することで、食の信頼を確保し、奈良市産食材を「地域ブランド」として確立していきます。

## 農商工連携新商品開発支援

担当 奈良ブランド推進課

平成26年度予算額

115万円

奈良市内の1次産業者と2次産業者または3次産業者が2人以上で連携して行う「奈良市産農林畜産物を利用した商品開発事業」に対して支援を行い、農業の6次産業化を推進します。

平成26年度は支援件数を2件とし、公募を行い、有識者による審査委員会において選定を行います。

## 大和茶・日本酒海外戦略

担当 奈良ブランド推進課

平成26年度予算額

730万円

日本食に理解のあるフランスにおいて、大和茶及び日本酒を現地企業との取引につなげるため、マッチングの機会を創出します。現地マスメディアへのPRを通じて、フランス市場における「大和茶」「奈良の日本酒」の販路を拡大します。

1日目：ビジネスマッチング大会、大和茶・奈良の日本酒セミナー、レセプション

2日目：デモンストレーション

（大和茶生産者、日本酒製造業者と現地商社、バイヤー、食品関係者とのビジネスマッチング）

## 奈良市の食×観光PR

担当 奈良ブランド推進課

平成26年度予算額

1,000万円

奈良市の食と魅力を全国にPRするため、東京駅前新丸ビル7階『丸の内ハウス』で、奈良市産の食材を用いた期間限定メニューを味わうことができるイベントを開催します。奈良市産食材を用いたオリジナル料理を提供し、奈良市産食材のPRを行うと共に、市独自のプラン・ツアーの提供や行事・イベントのPRを行い、奈良市の魅力を全国に発信します。



大和茶PR

担当 奈良ブランド推進課

平成26年度予算額 150万円

奈良市が大和茶の産地であることを広くPRするための様々な事業を展開することで、大和茶の知名度向上や販路拡大、お茶をきっかけとした観光客の誘致を図ります。

■ 「お茶コン@奈良」の開催

奈良で大和茶を楽しんでもらうため、大和茶を味わいながら奈良の魅力を再発見できるイベントを開催します。

■ 大和茶おもてなし作戦事業の実施

市内の旅館・ホテルなどと協力して、奈良市を訪問される観光客等を対象に大和茶ウェルカムドリンクを提供します。また、室内で提供する大和茶パックを開発し、お土産としても活用します。

いちごブランド化PR

担当 奈良ブランド推進課

平成26年度予算額 140万円

奈良市産いちご「古都華」の知名度とイメージを高め、古都ならが誇るブランドとして確立させるため、PR事業の展開や消費市場・流通経路・生産量拡大のための検討を行います。

いちごのシーズンに合わせ、市内有名料理店において「古都華」を扱ってもらうよう働きかけを行うなど「古都華」のPRに取り組むと共に、県内の古都華生産者と連携し、「古都華」の生産量拡大・販路拡大について協議を行います。

東部地域振興

目的

田原、柳生、大柳生、東里、狭川、月ヶ瀬及び都祁地域からなる奈良市東部地域は、人口減少と高齢化が顕著に進んでいるため、中心産業である農業の振興や観光地としての整備を進め、生活基盤向上と地域経済の発展を図ります。

東部地域施設整備

担当 奈良ブランド推進課 観光振興課

平成26年度予算額 4,600万円

■ 農産物直売所建設事業

2,700万円

既存直売所の利便性向上のため改修や、田原地区での農産物直売所の設置に向けた調査研究を行います。

■ 針テラス整備事業

800万円

針テラス情報館の利便性向上のための施設整備を行います。

■ 柳生の里観光施設整備事業

1,100万円

旧柳生藩家老屋敷のトイレ改修工事等を行います。

東部地域振興対策

担当 奈良ブランド推進課

平成26年度予算額 1,000万円

奈良市東部地域における、農産物の宅配やネット販売、農産物直売所設置、農家民泊、アウトドアツーリズム構想など地域の活性化のための新たな事業の実施に向け調査研究に取り組みます。

地域おこし協力隊

担当 奈良ブランド推進課、月ヶ瀬行政センター地域振興課、都祁行政センター地域振興課

平成26年度予算額 3,035万円

都市部の人材を地域おこし協力隊として東部地域の新たな担い手に受け入れ、地域活性化に資する活動を行います。

ふれあい交流ファーム・アクティブシニア農業体験事業

担当 農林課

平成26年度予算額 100万円

都市住民が農村地域で農業従事者の耕作指導を受けながら、農作物を育てる実体験ができる農園の貸出しを行うことにより、都市と農村のふれあい交流を図ります。

また、定年退職者などシニアをメインターゲットに、東部地域の公民館が連携し、地元農家・営農組合の協力を得ながら、野菜作りをはじめとした田舎暮らし体験事業を実施します。

個別重点項目

|                                                                                                                                                                                                                                          |         |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| ■ リニア中央新幹線新駅誘致推進（リニア推進課）                                                                                                                                                                                                                 | 1,800万円 |
| リニア中央新幹線新駅の奈良市への設置実現及び東京大阪間の早期全線開通を目指して、イベントやPR活動等を行い誘致に向けた取り組みを進めます。                                                                                                                                                                    |         |
| ■ 珠光茶会の開催（観光戦略課）                                                                                                                                                                                                                         | 1,200万円 |
| 茶道の源流ともいえる奈良の地で、「わび茶」を創始した奈良出身の珠光にちなみ、「第2回 奈良大茶会 珠光茶会」を開催します。                                                                                                                                                                            |         |
| ■ MICE誘致                                                                                                                                                                                                                                 | 950万円   |
| ○ 奈良県ビジターズビューロー負担金（観光戦略課）                                                                                                                                                                                                                | 200万円   |
| ・国際コンベンションシャトルバス助成金<br>・コンベンションユニークベニュー情報強化<br>会場へのシャトルバス運行と情報収集、活用のためのwebページの改善。                                                                                                                                                        |         |
| ○ 「奈良文書」20周年国際会議開催事業（文化財課）                                                                                                                                                                                                               | 750万円   |
| 「奈良文書」採択20周年を機に文化庁・県と国際会議を共催します。<br>MICE…国際会議や展示会・見本市など大規模な集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称。                                                                                                                                                        |         |
| ■ まほろば観光大学（仮称）の開校（観光戦略課）                                                                                                                                                                                                                 | 260万円   |
| 旅館・ホテル等の宿泊施設の従業員や経営者を対象に、ホテルマネジメント等に精通した講師を招き、経営戦略や財務等にも強い、世界の観光地と伍する高度観光人材を育成する講座を開催します。                                                                                                                                                |         |
| ■ 「大仏鉄道を巡る」観光資源開発（観光振興課）                                                                                                                                                                                                                 | 130万円   |
| かつてJR奈良駅と加茂駅を結んでいた通称「大仏鉄道」について、木津川市との共同事業として、奈良市と木津川市に残る遺構を巡る案内看板の整備とパンフレットの作成を行い、新たな観光資源の開発を図ります。                                                                                                                                       |         |
| ■ なら国際映画祭開催補助（文化振興課）                                                                                                                                                                                                                     | 1,400万円 |
| 映画を通じて奈良を世界に発信し、奈良の魅力を国内外に積極的にアピールし、文化振興及び観光振興に貢献します。日本及び世界の新人監督の発掘、若い人材の育成、人材の交流をすすめます。また、寺社仏閣との融合・コラボレーションする事により、奈良の活性化につなげます。<br>①ならアートナイト（プロジェクションアート） ②新人監督作品コンペティション<br>③NARAtive2014上映 ④企画上映（野外上映会・自転車発電上映会）<br>⑤NARAwave（学生映画部門） |         |
| ■ 入江泰吉記念写真賞及びならPHOTO CONTESTの開催（文化振興課）                                                                                                                                                                                                   | 1,000万円 |
| 「日本人の心のふるさと」である奈良大和路を約半世紀にわたり写真に撮り続けた、日本を代表する写真家・入江泰吉の文化・芸術への功績を記念し、奈良から日本文化の美と心を発信すること、「古都奈良」を広くPRすることを目的として、「入江泰吉記念写真賞」及び「なら PHOTO CONTEST」を開催します。                                                                                     |         |

若者たちが帰ってきたくなる街

質の高い公教育

目的

奈良で学んだ子どもたちが、激動する社会の中で自らの夢を実現し、未来を創り出していくことができるような教育を実現します。そのため本市では、豊かな人間性と確固たるアイデンティティを兼ね備え、確かな学力と規律あるたくましい子どもの育成を目指します。

奈良市教育振興アクション事業

担当 教育政策課

平成26年度予算額

480万円

「質の高い公教育」の実現をめざして国や奈良市の教育、子どもの実態調査を行うとともに、グローバルな視点を持つ有識者による奈良市教育振興戦略会議を開催し、それらに基づいた奈良市版学習指導要領の作成を行います。  
また、本市の教育に対する認知度向上のため、これまでリーフレット・ホームページを中心としていた情報発信の拡大を図ります。

ICT教育

担当 教育総務課

平成26年度予算額

1,911万円

子どもたちの学力向上、思考力、判断力、表現力等の育成に資するため、ICTの活用をICT戦略会議で検討し、「奈良市版フューチャースクール構想」に向けた効果検証を行うための機材を整備します。また、世界遺産学習の独自デジタル教材を作成します。  
ICT…情報・通信に関連する技術一般の総称。

小学校3年生からの英語教育の充実

担当 学校教育課

平成26年度予算額

5,992万円

英語を使って自分の考えを相手に伝え、自国の文化とともに多様な文化を受け入れる人材を育成するため、ALT（外国語指導助手）を増員し小学校にも派遣するなど、英語教育を充実します。

キャリア教育

担当 学校教育課

平成26年度予算額 256万円

変化が激しく見通しの持ちにくい社会の中で、社会人、職業人として自立し、たくましく生き抜く力を育成します。

世界遺産学習

担当 学校教育課

平成26年度予算額 734万円

奈良の世界遺産や文化財、地域遺産を通して奈良に愛着を感じ、奈良を誇りに思う子どもを育成します。

学校給食

学校給食

担当 保健給食課

■ 中学校給食の実施 9億3,920万円

平成27年度から中学校給食の実施を予定している5中学校（二名、京西、飛鳥、平城、登美ヶ丘北）の給食室の建設と給食関連消耗品の購入を行います。

■ 学校給食費の公会計化 1,500万円

これまでは、学校長が保護者から学校給食費を徴収する私会計で運営されてきましたが、学校現場の事務負担軽減及び会計の透明化をはかるため、徴収管理事務を市へと移行します。

■ 食物アレルギーに対する研修 50万円

食物アレルギーに対し、緊急時の適切な対応ができるように正しい知識を取得するための教職員研修を行います。

子育て支援

目的

昨今の社会経済情勢の変化で結婚・出産後も継続して就労を希望される女性が増えているため、子育て支援の重要性が増しています。待機児童の解消をはじめ、幼児期の学校教育保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進します。

公立幼稚園預かり保育

担当 こども園推進課

平成26年度予算額 2,950万円

保護者の就労の有無や就労形態の多様化に対応し、さまざまな保育ニーズにこたえるため、現在、市立幼稚園6園において通常教育時間終了後に預かり保育を実施しています。  
平成26年度は、新たに3園を追加し9園での実施とすることで、さらなる子育て支援の充実を図ります。

（仮称）西大寺駅前保育園施設整備費補助事業

担当 保育所・幼稚園課

平成26年度予算額 1億5,308万円

当市で待機児童の最も多い地域である近鉄大和西大寺駅周辺において、90人定員の民間保育所を公募により設置し、施設整備に要する費用の一部を補助することで、待機児童の解消と子どもを安心して育てることができる体制整備を行います。  
運営する事業者については社会福祉法人とし、平成20年度子育て支援対策臨時特例交付金により奈良県が造成した安心子ども基金を活用し施設整備に対する補助を行います。





子ども発達支援

担当 子育て相談課

平成26年度予算額 2,680万円

発達に課題があり、発達支援の必要があると認められる就学前の幼児とその保護者に対して、相談・療育の場を設け、関係機関と協働しながら一貫して支援する体制を整え、幼児の心理的な発達を支援していきます。また、市民を対象とした啓発講座を行っていきます。

さらに、平成26年度からは、発達支援に関わる支援者に研修を行い、また、発達状況・目標・評価等記録する個別の支援計画を作成します。

移住・定住促進

担当 奈良ブランド推進課

平成26年度予算額 100万円

本市への流入人口を増やすため、奈良の魅力PRを強化します。現在、本市の実施しているさまざまな取り組みやまちの魅力を広報し、移住・定住に繋がります。

「自然豊かな地域で生活がしたい」と移住を希望する人が多数来場する、移住交流促進機構（JOIN）の展開する、移住交流フェア等にブースを出展し、本市の魅力を伝えと共に情報提供や相談に応じる場とします。

子育て世帯向け空家改修

担当 住宅課

平成26年度予算額 2,600万円

市営住宅定期空家募集において、これまでの募集枠に加えて、低所得者で住宅に困窮する小さい子どものいる子育て世帯を対象として、新たに「子育て世帯向けの特定目的住宅」の募集枠を設定します。それに伴う空家改修工事を実施します。



豊かな自然環境の保全

目的

奈良は人と自然が共生する美しいまちであり、この素晴らしさをもって奈良への定住促進、流入促進を図っていくことが重要です。この美しいまちを未来の世代にしっかりと継承していくために、環境負荷の低減や豊かな自然環境の保全にさらに努めていきます。

太陽光発電普及啓発・公共施設の屋根貸し太陽光発電事業

担当 エネルギー政策課

平成26年度予算額 40万円

低価格・保証等がある太陽光発電プランを事業者から募集し、優良プランとして登録し、市のホームページで紹介するなど太陽光発電の普及促進を図ります。

また、民間事業者による太陽光発電事業を促進するため、市の公共施設の屋根を有償で事業者に貸与し、賃借料を徴収して収入増を図ります。

クリーンセンター建設事業

担当 クリーンセンター建設準備課・道路建設課

平成26年度予算額 5,473万円

現在のごみ焼却施設は、稼働開始後すでに30年近く経過しています。市民のよりよい生活環境の構築と循環型社会の形成を目指し、計画的かつ効率的に、施設の移転建設を進めます。

|                 |         |
|-----------------|---------|
| ■ クリーンセンター建設    | 5,093万円 |
| ■ 般若寺交差点付近の道路改良 | 380万円   |

街路灯LED化

担当 道路維持課

平成26年度予算額 1億円

街路灯の増設等により、維持管理費が増大していることから、水銀灯をLED化することにより、光熱水費及び修繕費等のコスト削減に加え、二酸化炭素の排出量も削減します。



いつまでも住み続けたい安寧の地

防災行政

**目的** 今後、発生が予想される巨大地震に備え、早期の防災・減災対策が重要です。特に学校施設については、災害時の地域住民の応急避難所としての役割もあり、学校・園の100%の耐震化に向けて引き続き取り組みます。

防災行政無線整備

担当 危機管理課

平成26年度予算額 2億3,600万円

- 奈良市防災行政無線（デジタル同報系）整備工事 2億3,600万円  
防災情報や避難勧告・避難指示など広く市民や観光客に呼びかけ、迅速・適確な被害の抑止や最少化を図るためデジタル同報系防災行政無線を整備します。

テレビ会議システムの導入

担当 危機管理課

平成26年度予算額 100万円

災害発生時には、その被害の状況や様子を迅速・的確に伝達し早急な対応を行う必要があります。その手段として、災害対策本部と災害現場や出張所等をリアルタイムで連結し情報共有・状況把握することで、迅速・適確・有効な対策を講じることができるよう災害対策本部会議システムを構築します。

奈良市・生駒市高機能消防指令センター整備

担当 消防指令課

平成26年度予算額 5億2,400万円

消防通信指令事務協議会を設立した生駒市と共同で高機能消防指令センターを整備します。

安心安全のまちづくり

耐震

担当 こども園推進課 教育総務課 建築指導課

平成26年度予算額 13億9,605万円

- 学校園の耐震化 12億9,730万円  
現在の耐震基準を満たしていない学校園の園舎・校舎等を耐震化し、子どもたちが一日の大半を過ごす学校園生活を安全安心なものにします。  
また、補強困難な校舎については改築を行います。
- 要緊急安全確認大規模建築物耐震診断補助 9,875万円  
不特定多数が利用する大規模民間建築物について、耐震診断をする事業主の負担軽減を行います。

個別重点項目

- 奈良市ポイントカード制度（協働推進課、長寿福祉課） 1,306万円  
市民が市主催の事業や市が指定する事業等に参加することにより、各種特典に交換できるポイントを付与する奈良市ポイントカード制度を実施し、全ての市民がいつまでもいきいきと健康的な生活を営むことを促進します。
- 重度障害者入院時意思疎通支援（障がい福祉課） 137万円  
入院中に医師や看護師等とコミュニケーションが十分に図れない重度の障害者を対象に、その人とのコミュニケーションに慣れた支援員を病院に派遣し円滑なコミュニケーションを図ります。
- バリアフリーの促進（交通政策課） 5,940万円
  - 奈良市バリアフリー特定事業計画策定業務 860万円  
高齢者や障がい者、妊産婦、けが人、さらに子育て世代や観光客等の移動や施設利用の利便性、安全性の向上を促進すること及び観光誘客にも寄与することを目的に、国で定められた6項目の特定事業計画を策定し、本市の重点的かつ一体的なバリアフリー化を目指します。加えて、奈良市独自事業として観光バリアフリー事業を計画します。
  - 近鉄菟池駅南口エレベータ設置工事 5,080万円  
現在、通路がバリアフリー化されていない近鉄菟池駅について、エレベータ設置に向けて、現況等を調査し、エレベータと附帯施設整備の検討・設計を実施します。

オープンでコンパクトな自治体へ

民間委託

**目的** 「最少のコストで最大の市民サービスを生み出す」自治体経営を目指します。経費の削減に努め、また税の使途を最適化するという目標を掲げ、民間にできることは民間に委託するなど様々な改革を進めます。

市街地家庭ごみ収集委託

担当 収集課

平成26年度予算額 1億5,600万円

収集業務の平準化に伴い、家庭系ごみ収集運搬業務の委託を拡大します。

児童手当業務委託

担当 子ども育成課

平成26年度予算額 2,430万円

児童手当の事務処理を民間委託することにより、認定処理等の期間短縮化を図り、市民サービスの向上に努めます。

情報システム最適化

担当 情報政策課

平成26年度予算額 2億4,166万円

昭和48年に導入された大型汎用コンピュータにより業務のシステム化を進めてきましたが、度重なる法改正によるプログラム修正等によりシステムの構築が複雑化している現状です。  
また、各課においても独自の情報システムを導入していることから、情報システム全体としての効率化・簡素化、経費の削減、市民サービスの向上につなげるため「奈良市情報システム最適化計画」に基づき、既存システムを見直し、共通基盤・総合税システム等の新システムを導入します。

小学校給食調理業務委託

担当 保健給食課

平成26年度予算額 3億7,020万円

平成19年度から行っている小学校の給食調理業務委託について、新たに5校で実施し、民間委託の拡大を図ります。

個別重点項目

協働のまちづくり推進（協働推進課） 300万円

地域には自治会をはじめ様々な団体が活動を行っていますが、その連携状況には地域差があるため、これまで築き上げられてきた団体間の連携がさらに深まるよう、新たな地域自治を担う組織（地域自治協議会）の設立を推進し、地域主体の地域づくりを進めます。

運動公園内施設整備（スポーツ振興課） 1億4,180万円

中央体育館、中央武道場空調設備設置 880万円

夏季には室温が40℃近くなる中央体育館・中央武道場に、熱中症を予防するために空調設備を設置します。大規模な設備投資ではなく維持管理の簡易な機器を導入します。

中央体育館、中央第二体育館改修工事 3,000万円

建設後40年程度経過している中央体育館・中央第二体育館の床面の研磨・体育器具設置金具等の交換を行い、安全性を確保します。また、配管や設備が老朽化しているトイレの改修を行います。

鴻ノ池陸上競技場インフィールド他改修工事 1億円

鴻ノ池陸上競技場の芝生部分を100mから107mに拡張し、サッカーやラグビーの公式試合も開催できる多目的な第1種公認陸上競技場に改修します。

鴻ノ池運動場公園中央駐車場改修工事 300万円

使用不能となっている噴水を撤去し、駐車台数を増やします。また、段差を解消するなど動線の改善を行い場内の安全性を高めます。